平成30年度第2回 ISO/TC46本委員会議事録

1. 日時: 2019年12月14日(木) 14時～15時半

2. 場所: 日本図書館協会会館5階 会議室1

3. 出席:

委員 宮澤彰 国立情報学研究所名誉教授(委員長)

安形輝 亜細亜大学

植村八潮 電子出版制作・流通協議会

大島薫 国立国会図書館

小賀坂康志 科学技術振興機構

田良島哲 東京国立博物館

風間吉之 国立公文書館

樋口清一 日本書籍出版協会

大場高志 日本図書館協会

光富健一 情報科学技術協会

4. 配布資料:

資料1-1 平成31年度標準化テーマ調査票

資料1-2 平成31年度標準化調査研究テーマ調査票

資料2-1-1 平成30年度ISO/TC46投票報告(平成30年6月21日～平成31年1月23日)

資料2-1-2 ISO/TC46/ N2758投票結果

資料2-2 平成30年度ISO/TC46投票審議（平成31年1月24日～）

資料3-1 ISO 3166/MA会議(第40回)報告

資料3-2 ISO 3166/MA会議(第41回)報告

資料3-3 ISO/TC46/WG2 2018-11-15報告

資料4 ISO/TC46総会週間スケジュール案

5. 議題

・前回議事録確認

「平成30年度第１回ISO/TC46本委員会議事録」が配布され、異議なく、確認された。補足的にISO 22038に関しては前回会議後にWG会合は開いていないが、議論を進めた上で2月5日までのCD投票が行われていることが紹介された。

1. 平成31年度新規テーマ調査票について

　宮澤委員長より次年度の予算に関して経済産業省の標準化事業に以下の二つの応募を行ったことが報告された。

* 1. デジタルアーカイブを検索する際のローマ字化に関する国際標準化
  2. 電子書籍の識別子に関する標準化

申請書の内容について説明がされた。もし申請が採用された場合には「デジタルアーカイブを検索するさいのローマ字表記法」についてはSC4が中心となり、「電子書籍の識別子に関する標準化」についてSC9が中心となってWGを設定し、プロジェクトを進める。

２－１）投票報告

　宮澤委員長より、前回委員会以降に行われた投票案件について報告があった。特にISO 3166の投票について、日本は国名コードのメンテナンスエージェンシー候補として立候補し、日本は19票、スペインが16票を集め、当選したことが説明された。

２－２）投票審議

　宮澤委員長よりタイ文字の翻字方法に関する標準であるISO 11940:1998に関するSR投票について説明があった。実際には使われていない国際標準である。従来から日本としては範囲なしで翻字法を作るのは反対であるため、棄権をする方針となった。

３）国際会議報告

　宮澤委員長より資料3-1～3に基づいて出席した国名コードに関する国際会議とWGの報告があった。ISO 3166/MA会議は国名コードの内容に関する会議体(資料3-1,2)であり、WG2はISO 3166/MAのルール作りに関する会議体(資料3-3)である。なお、資料3-1は前回会議での資料である。WG2ではISO 3166-1,2,3の改訂に関する作業を進めているが、スケジュールが遅れているため、マイナーな改訂で投票に進める予定であることが紹介された。

４）TC46オタワ総会

　宮澤委員長よりカナダのオタワで2019年5月6日から10日まで開催されるTC46総会週間について紹介された。日本からの代表を予定者を含め承認した。

5) その他

以上